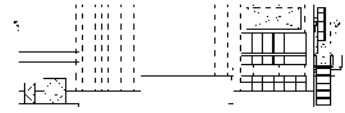


# CASBEE神戸ver.3

## 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3/CASBEE 建築（新築）2016年版 使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-SD\_NC\_2016(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ドラッグコスモス御影店新築工事	階数	地上2F
建設地	神戸市東灘区御影石町1丁目	構造	S造
用途地域	準防火地域、下水道処理区域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,015時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年9月25日
敷地面積	2,434 m <sup>2</sup>	作成者	田中 孝幸
建築面積	1,437 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,812 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 68%  
③上記+②以外の 68%  
④上記+ 68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安を示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.1

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.4

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 CASBEE神戸 の重要項目		
<h4>バリアフリー計画</h4> <p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p>3.0</p>	<h4>建築物の耐震性等</h4> <p>Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p>3.0</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p>2.6</p>	<h4>まちなみ・景観への配慮</h4> <p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p>1.0</p>
<p>配慮の概要 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている</p>	<p>配慮の概要 建築基準法に定められた耐震性等を満たしている</p>	<p>配慮の概要 特になし</p>
<p>その他の配慮事項 特になし</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい

**CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)**  
**ドラッグコスモス御影店新築工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD\_

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.36		-		<b>2.2</b>
<b>1 音環境</b>				<b>1.8</b>	0.15		-		<b>1.8</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40		-		
1.2 遮音				<b>1.0</b>	0.40		-		
1 開口部遮音性能				1.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能				-	-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-		
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20		-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.9</b>	0.35		-		<b>1.9</b>
2.1 室温制御				<b>2.8</b>	0.50		-		
1 室温				3.0	0.45	1.0	-		
2 外皮性能				2.0	0.20		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.35		-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20		-		
2.3 空調方式				1.0	0.30		-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25		-		<b>3.0</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.51		-		
1 昼光率				-	-		-		
2 方位別開口				-	-		-		
3 昼光利用設備				3.0	1.00		-		
3.2 グレア対策				-	-		-		
1 昼光制御				-	-		-		
3.3 照度				-	-		-		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.49		-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>2.3</b>	0.25		-		<b>2.3</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-		
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.50		-		
2 自然換気性能				-	-		-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50		-		
4.3 運用管理				<b>1.0</b>	0.20		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				1.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				1.0	0.50		-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30		-		<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.7</b>	0.40		-		<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40		-		
1 広さ・収納性				-	-		-		
2 高度情報通信設備対応				-	-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.30		-		
1 広さ感・景観		天井高さ=3500		4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-		
3 内装計画				3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				<b>2.0</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				2.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30		-		<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.4</b>	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主にVP管を使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				<b>2.6</b>	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.30		-	-	<b>3.1</b>
3.1 空間のゆとり			<b>3.4</b>	0.30		-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率: 0.13	4.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.34		-	-	<b>1.4</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30		-	-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>1.0</b>	0.40		-	-	<b>1.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>2.5</b>	0.30		-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>2.0</b>	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>3.0</b>	0.50		-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-		-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	-	<b>3.5</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制			<b>1.0</b>	0.20		-	-	<b>1.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10		-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.59	<b>5.0</b>	0.50		-	-	<b>5.0</b>
4 効率的運用			<b>2.5</b>	0.20		-	-	<b>2.5</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.5</b>	1.00		-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1 モニタリング			-	-		-	-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	-	<b>2.7</b>
1 水資源保護			<b>3.0</b>	0.20		-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>2.4</b>	0.60		-	-	<b>2.4</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.7</b>	0.20		-	-	<b>3.7</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>4.0</b>	0.70		-	-	
1 消火剤			-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		断熱債はグラスウールを使用	5.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	-	<b>3.4</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2 排出率=65%	<b>4.2</b>	0.33		-	-	<b>4.2</b>
2 地域環境への配慮			<b>3.3</b>	0.33		-	-	<b>3.3</b>
2.1 大気汚染防止		燃焼機器不使用	<b>5.0</b>	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.5</b>	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			<b>2.7</b>	0.33		-	-	<b>2.7</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 騒音			3.0	1.00		-	-	
2 振動			-	-		-	-	
3 悪臭			-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-		-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			<b>1.6</b>	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-	